



令和元年6月15日
第822号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
03-3261-5522
00160-6-25389
振替 発行人 群上和男
編集 毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

理事会 平成30年度決算を承認 令和2年度 政府予算 要望事項も審議

日本遺族会は五月二十四日、第十七回理事会を東京千代田区・千代田会館で開催した。平成三十年度事業報告及び計算書、公益目的支出計画実施報告書の承認、さらには、英霊顕彰運動及び処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法、令和二年度政府予算に対する本部・支部の要望事項等が審議された。



第17回理事会で挨拶に立つ水落敏米本会会長
= 5月24日、千代田会館で

会議は午後一時三十分、群上和男専務理事の進行で開会、靖国神社に眠る英霊に感謝の黙禱を捧げた後、水落敏米本会会長(参議院議員)は、「新しい令和の時代が、平成の御代と同様に戦争のない平和な御代となり、まずよう皆様とともに、先輩や先達が築いた光輝ある遺族会の活動を今後もしっかりと引き継いで参りたい」と挨拶した。次いで、森田次

夫顧問から挨拶があった。理事に入る前に理事の出席者数を確認し、会議の成立が確認された後、議長に市來健之助副会長が選出された。議事に移り、最初に平成三十年度事業報告及び決算等が説明された後、監事を代表して池中征司氏が監査報告を述べ、審議を経て承認された。次に平成三十年度公益目的支出計画実施報告書、平

事務局長幹事会では、支部事務局長の交代や事務局長・事務局職員研修会の開催日時等の報告、女性部長会では、支部女性部長の交代や女性部役員の新規受章について報告された。女性部長会及び青年部長会では、平成三十一年度(二〇一九年度)事業計画及び収支予算書についての説明があった。各会議では本年四月以降の英霊顕彰や処遇改善



新たに就任した女性部役員
= 5月14日、千代田会館で

運動の経過について報告され、今後の運動方法については平成三十一年度(二〇一九年度)事業計画に基づき推進する事が承認された。さらに令和二年度政府予算の概算要求に対しては、支部から寄せられた要望と本会事務局案について意見が聴取された。

なお青年部長会では、本会・各支部青年部の具体的な活動について審議された。また、女性部長会では任期満了に伴う役員改選が行われた。新役員は次のとおり。

女性部役員
部長 須賀 宏江 (群馬県)
副部長 野間 征子 (大阪府)
同 小西 照枝 (広島県)
幹事 高橋 亮子 (宮崎県)

並木 たか子 (埼玉県)
高垣 静子 (兵庫県)
同 清家 征子 (愛媛県)
同 川越 禎子 (宮崎県)

成三十年度本会諸会計予算の第一次補正、英霊顕彰及び処遇改善運動が承認された。その後、令和二年度政府予算に対する本部・支部からの要望事項が審議された。

項が審議され、六月十日開催の評議員会を経て取りまとめることが承認された。

なお、提案された議案のすべては、五月十六日に常務理事会において検討されたものである。

本会関係者
栄えある受賞
令和元年春の叙勲
政府は令和元年春の叙勲及び褒章受章者を発表

理事会を開催
日本遺族政治連盟
日本遺族政治連盟は、五月二十四日、東京・千代田会館において理事会を開催した。

支部長交代
群馬・神奈川で
群馬県遺族の会
清水 基衛氏
(五月二十八日付)

謹 哀悼
新田久亀夫氏
日本遺族会元評議員(鹿児島県遺族連合会元副会長)
五月二十四日、逝去された。九十歳。葬儀は上村葬祭大崎福祉祭場で行われた。喪主は長女、上釜久美子氏。

岩谷英雄氏
岩谷英雄氏(74歳)
元本会理事、元兵庫県遺連合遺族会副理事長
柿原啓志氏(83歳)
兵庫県遺族会会長
篠原彌之氏(81歳)
元本会理事、広島県遺族会副会長

声なき声
真夏日、全国566地点と見出しにであった。何と5月の終わりに日本列島は高気圧に覆われ、高気圧に覆われた上に大陸から真夏並みの暖気が流入し、北海道佐呂間町で5月の国内最高気温を更新する39.5度を観測する等、各地で厳しい暑さに見舞われた。令和の時代になっても異常気象は変わらぬものかと悩ましい所である

みたままつり
献灯のご案内
靖国神社みたままつりが、七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。
ご遺族戦友会・崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

靖国神社
献灯初穂料
小型献灯 一灯につき 三千元
大型献灯 一灯につき 一万二千元
お申し込みは、左記の靖国神社社務所献灯係までお問い合わせください。
申込要領等をお送りいたします。

靖国神社社務所 献灯係
お問い合わせ
〒102-8246 東京都千代田区九段北三二一
電話 03(3261)8326(代)

結成65周年の集い開催

靖国神社で奉納式・奉告参拝

女性部

日本遺族会は五月十三日、全国の女性部幹部八十六人が東京の靖国会館に参集し「女性部結成六十五周年の集い」を開催した。靖国神社にて奉納式及び奉告参拝、靖国会館で研修会を開き、山口建史靖国神社宮司による記念講演といった記念行事を実施。本会からは水落敏栄会長（参議院議員）等役員が出席した。



「女性部結成65周年の集い」で講演する山口建史靖国神社宮司＝5月13日、靖国会館で

本会女性部は昭和二十九年に婦人部協議会として発足し、平成十八年に戦没者の妻に女性の遺児を加え、名称を婦人部から女性部と改正し本年六十五周年の節目の年を迎えた。これを記念し「女性部結成六十五周年の集い」を開催した。

本会からは水落敏栄会長、宇田川勲雄・市來健之助副会長、畔上和男専務理事らが出席した。

午前十一時、百田節子女性部副部長の開会の辞が始まり、初めに水落会長が「時代は令和となり、私たち遺族会は後継者育成という大きな課題を抱えているが、世界の恒久平和を希求する活動を次世代に繋げるべく、青年部と共に活動していきたい」と挨拶した。次に三浦妙子女性部部長が「光輝ある遺族会の後継者として青年部が自立していくため、女性部の環境を整え、育成、指導

支援していくことが必要だ」と挨拶した。

午後十一時三十分、靖国神社参集殿にて、奉納式が行われ、三浦部長から奉納金を山口宮司に手渡し、山口宮司から女性部に対し感謝状が贈呈された。続いて奉告参拝が行われ、参加者全員で本殿に進み玉串を奉奠した。

午後一時十五分から、山口宮司による「靖国神社の本質」と題して記念講演が行われ、参加者は熱心に聞き入った。講演後、野間征子女性部副部長の開会の辞で終了した。

遺骨収集帰還事業参加者募集

日本遺族会では、令和元年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺児をはじめ青年部（孫、曾孫等）の方にも広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

▼派遣実施予定地域及び期間 遺骨収集実施予定表参照。

靖国神社参拝 国会議員

国会議員

平成三十一年四月二十三日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百四十五人（代理人含む）の衆・参議員は次のとおり。

（党派別、敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院

【自民党】逢沢一郎、青山周平、秋葉賢也、池田道孝、伊東良孝、井上信治、井林辰憲、岩田和親、うへの賢一郎、大串正樹、三ツ林裕巳、宮澤博行

▼参議院

【自民党】赤池誠章、石田昌宏、磯崎仁彦、宇都隆史、江島潔、衛藤晟一、尾辻秀久、佐藤正久、中尾松司、中曾根弘文、中野正志、長峯誠、野村哲郎、堀井巖、松村祥史、三木亨、水落敏栄、三宅伸吾、山田宏、山谷えり子、吉川ゆうみ

【日本維新の会】東徹

【希望の党】中山恭子

議員代理参拝

▼衆議院

【自民党】青木一彦、有村治子、岩井茂樹、大家敏志、金子原二郎、こやり隆史、佐藤啓、佐藤信秋、島田三郎、関口昌一、滝沢求、豊田俊郎、中西祐介、二之湯武史、橋本聖子、馬場成志、福岡資鷹、藤川政人、牧野たかお、松山政司、山崎正昭、山本一太

【無所属】アントニオ猪木

新たに925柱を納骨

眞子内親王殿下ご臨席

苑式 墓者没者 参礼 戦没者 参礼

厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拜礼式が五月二十七日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の長女・眞子内親王殿下のご臨席のもと挙行された。式典では政府派遣の戦没者遺骨収集帰還団等が旧戦域で収容した遺骨のうち、DNA鑑定をしても身元が分からないなどの理由で遺族に引き渡せなかった九百二十五柱が同墓苑に納骨された。約六百人の参列者が戦没者に対し

哀悼の誠を捧げた。式典は、午後零時二十八分、眞子内親王殿下が御臨場になられ開式された。参列者一同が国歌を斉唱した後、根本匠厚生労働大臣が式辞を述べる。式典では、眞子内親王殿下のご拝礼に合わせ参列者一同も拝礼。眞子内親王殿下ご退場後、皇宮警察音楽隊が「慰霊の曲」「悲しみ越えて」「慰安する」を奏でる中、安倍総理大臣の代理として菅義偉官房長官、水落敏栄日本遺族会会長（参議院議員）、さらに遺族代表、旧戦域の関係国駐日大使、大島理森参議院議長、

衆参両院厚生労働委員長、外務・環境・防衛各大臣代理、各政党代表、各関係団体代表、最後に根本匠厚生労働大臣が献花した。



根本匠厚生労働大臣の先導で参拝に向かわれる眞子内親王殿下＝5月27日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

本会の諸会議

本会では5月13日以降、開催した各種会議は次の通り。

▼事務局長幹事会 5月13日 詳細は一面に記事として掲載。

▼女性部長会議 5月14日 詳細は一面に記事として掲載。

▼青年部長会議 5月15日 詳細は一面に記事として掲載。

常務理事会

5月16日 ①支部寄付金の未収日 ②第17回理事会に付議する事項③第10回評議員会に付議する事項④第18回理事会に付議する事項⑤令和元年度本会事務局職員給与改善⑥事務局職員の定年延長について。

▼第3回今後の遺族を考える特別委員会 5月16日 ①支部の実態調査結果の分析と、今後の検討課題について。

監事会

5月17日 ①平成30年度本会決算書の監査②平成30年度共済会決算書の監査について。

▼第17回理事会 5月24日 詳細は一面に記事として掲載。

好業 友事 慰親 靈善

遺児の参加者募集

亡き父等の縁の地を訪問

日本遺族会が厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、参加者を募集している。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、亡き父等の戦没地を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、現地の病院や学校等を訪問、友好親善を深めることを目的とする。費用は10万円。

募集要項は次のとおり。
▼時期及び地域 実施
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結

係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。
▼参加資格 戦没者の遺児。平成三十年年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目全てに記入を要するの

項目に不明な点(戦没者の部隊等)があれば各遺族会に相談し、条件を満たした上で提出願いたい。

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：(ザイ)ニホンイソクカイ」

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

2019年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 旧ソ連	2019年8月19日(月)～8月27日(火) 8泊9日 ・A班=ハバロフスク、コムソリスク、ピロビジャン、イズベストコーワヤ ・B班=イルクーツク、チタ	40人	2019年6月19日
2 西部ニューギニア	2019年9月5日(水)～9月14日(土) 9泊10日 ・A班=ジャヤブラ(旧ホーランジャヤ)、ゲニム、ピアク島 ・B班=ハルマヘラ、マノクワリ	40人	2019年7月4日
3 ソロモン諸島	2019年9月18日(水)～9月25日(水) 7泊8日 ・ガダルカナル島、ツラギ	20人	2019年7月18日
4 東部ニューギニア	2019年10月2日(水)～10月9日(水) 7泊8日 ・A班=マダン、ウエワク、ボイキン、プーツ ・B班=ラエ、フィンシュハーヘン(機上選拜)、ウエワク	42人	2019年8月2日
5 トラック・パラオ諸島	2019年10月12日(土)～10月18日(金) 6泊7日 ・A班=春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊 ・B班=パラオ本島、ペリリュー島及び環礁内洋上慰霊	40人	2019年8月13日
6 ボルネオ・マレー半島	2019年10月29日(火)～11月7日(木) 9泊10日 A班コタキナバル、ケニンゴウ、プルネイ、ラブアン、マレー半島 ・B班バリクパバン、タラカン	40人	2019年8月29日
7 フィリピン(1次)	2019年11月8日(金)～11月15日(金) 7泊8日 ・A班=マニラ及び東方山地 ・B班=コレヒドール島、クラーク、マニラ南方 ・C班=ルソン島北部(バギオ、クラーク) ・D班=ルソン島北部(パレテ峠、ソラノ、キャンガン、オリオン峠) ・E班=ネグロス島(バコロド)、ミンダナオ島(ダバオ) ・F班=セブ島、レイテ島(タクロバン、ブラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	120人	2019年9月9日
8 マリアナ諸島	2019年11月20日(水)～11月26日(火) 6泊7日 ・A班=グアム島、サイパン島 ・B班=サイパン島、テニアン島	40人	2019年9月20日
9 ミャンマー	2019年12月13日(金)～12月21日(土) 8泊9日 ・A班=ヤンゴン、バグー、トンゲー、モールメン ・B班=ミートキーナ、マングレー、メークテラ、バガン ・C班=ヤンゴン、マングレー、カレミー、プローム	60人	2019年10月11日
10 台湾・パシフィック	2020年2月3日(月)～2月9日(日) 6泊7日 ・A班=台北、台中、高雄、墾丁 ・B班=台北、花蓮、台東、墾丁	30人	2019年12月3日
11 ビスマルク諸島	2020年2月12日(水)～2月19日(水) 7泊8日 ・A班=マスス、ニューブリテン島(ラバウル) ・B班=ブカ島、ブゲンビル島(ヌマスマ)、ニューブリテン島ツルブ(機上選拜)ラバウル	40人	2019年12月12日
12 マーシャル・ギルバート諸島	2020年3月7日(土)～3月15日(日) 8泊9日 ・A班=クエゼリン、マジユロ ・B班=マキン、タラワ、マジユロ	40人	2019年11月7日
13 フィリピン(2次)	2020年3月13日(金)～3月20日(金) 7泊8日 ・A班=マニラ及び東方山地 ・B班=コレヒドール島、クラーク、マニラ南方 ・C班=ルソン島北部(バギオ、クラーク) ・D班=ルソン島北部(パレテ峠、ソラノ、オリオン峠、アバリ) ・E班=ネグロス島(バコロド)、ミンダナオ島(ダバオ) ・F班=セブ島、レイテ島(タクロバン、ブラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	120人	2020年1月14日
14 中国	2020年3月23日(月)～3月31日(火) 8泊9日 ・A班=北京、鄭州、太原 ・B班=上海、南京、武漢 ・C班=上海、武漢、岳陽、長沙 ・D班=広州、桂林、長沙	80人	2020年1月23日

上記14地域の他に特定地域として下記3地域を行う予定です。

1 西部ニューギニア	2020年1月17日(金)～1月26日(日) 9泊10日 ・A班=ジャヤブラ(旧ホーランジャヤ)、ゲニム、ピアク島 ・B班=マノクワリ、ソロン	36人	2019年11月18日
2 東部ニューギニア	2020年2月12日(水)～2月19日(水) 7泊8日 ・A班=マダン、ウエワク、ボイキン、プーツ ・B班=ボボンデッタ、ギルワ、ウエワク	36人	2019年12月12日
3 ミャンマー	2020年2月25日(火)～3月4日(火) 8泊9日 ・A班=ヤンゴン、バグー、トンゲー、ラシオ ・B班=ミートキーナ、マングレー、アキャブ	36人	2019年12月23日

下記地域については、応募状況によって機上選拜等を実施する場合があります。
①西部ニューギニア(ワクア島、ダンゲン、トル川、サルミ、ムミ、ヌンホル島)
②東部ニューギニア(ソナム、マルジップ、坂東川、アイトベ、山南方面)
③ビスマルク諸島(タロキナ、ブイン、ムグアイ)
④マーシャル・ギルバート諸島(ルオット、ウオツゼ、マロエラップ、ミレ、ヤルト)

お父さんへ

第65回

お父さん、この度日本遺族会の慰霊友好事業に参加して、念願であったシベリアの地に来ることが出来ました。お父さんの最後の地とはいえ、思い出が全くないため、心の中であれこれとためらい、七十年代になって漸く訪ねたいという自然な気持ちになりました。遅くなりましたが、どうぞお許しください。また、こうした機会を日本遺族会が与えて下さいましたことを心から感謝しています。

お父さん、あなたに一度でも甘えたかった。平穏な暮らしを送る私達の想像を絶する過酷なものだった。終戦の翌年十二月にあなたは戦病死、残された私たちの家族は、母が支えて生きてきました。母の人生も大変であったと思います。孫三人を見せ、最後は私と主人にとつて、七十年前の幼い時の記憶とはいえ、体験があり戦争は絶対だめだという強い気持ちがあります。しかし私たちの子供達はどのようにしよう。戦争遺児である私の大きな使命は、彼らにお父さんの筆舌に尽くしがたい労苦や戦争の無残さを伝え、何より平和を守り抜くことを教えることだと思います。



ハバロフスク・ボラチェフカで
=25年9月

合があるのです、予めご了承願いたい。なお、参加者の高齢化に考慮し、看

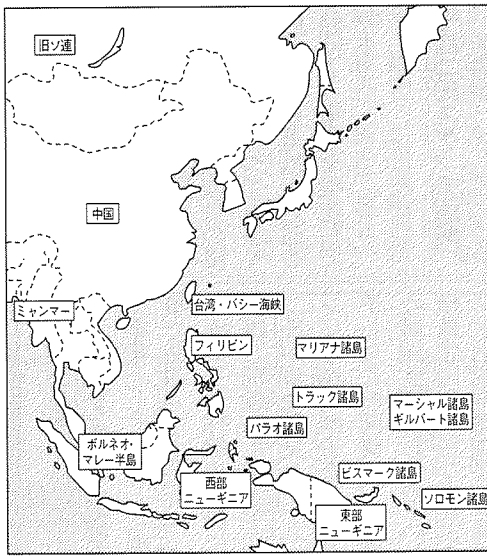
本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきまして左記の方々に対し、お礼申し上げます。

- 牧野笑子、北村新一郎
- 小林弘、遠藤カオル、吉川愛子、奥野榮造、梅澤

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定め)を、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。



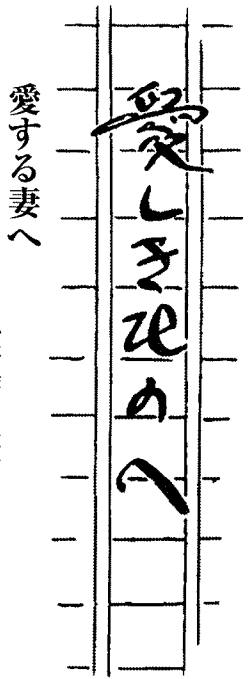
フィリピン慰霊巡拝

青年部の参加者を募集

本会主催

日本遺族会主催のフィリピン戦跡慰霊巡拝について本紙五月号で告知したが、本年度は本会青年部が主体となって企画し、青年部事業の一環として実施する運びとなった。戦争の記憶を風化させないために、慰霊巡拝を体験し、遺族会後継者の育成を目的とした本事業への青年部(戦没者の孫・ひ孫・甥・姪等)の参加者を募集している。

去る五月十五日開催の青年部長会で、青年部事業の七つの柱の一つである「慰霊巡拝への参加」を実現させるため、本会主催のフィリピン戦跡慰霊巡拝を青年部主体で実施することが決まった。実施時期は令和二年一月九日(木)から一月十三日(月)の四泊五日。実施地域はルソン島マニラ及び東方山地、クラーク等。レイテ島オルモック、リモン峠、カンギポット山等の二班を予定する。



愛する妻へ

陸軍伍長 柳田 満彦

昭和二十年六月三十日
フィリピン・ルソン島にて戦病死
鹿児島県肝属郡垂水町出身 三十歳

信枝殿、御苦勞の程察して感謝してゐる。これも偏に御国の為なのです。何分身体を大事に出征軍人の妻として両親への孝養、子供や弟妹の教育に養育に僕に分まで御働き下さい。兄や弟、また両親から「よくやつてくれる」と知らされる度に僕は嬉しくて唯、君が面影をひしと抱きしめて有難たうと言ひたい様な気がします。とにかく、共々に耐へ忍んで頑張るべき秋だ。くれぐれも身体を大事にやつてくれ。

(中略)
満代の写真まだかね。できる事なら一家揃つた写真が見たいね。懐かしい気がする。◎注意(これは大声では言ひにくい、実際のところ愛しい我が妻の写真が見たいのだ。常に肌身はなさず抱いてみたいのだ)是非頼む。
では何卒御身体を御大事に、皆様へよろしく。

愛妻へ

※「満代」は、御長女の御名前

夫より

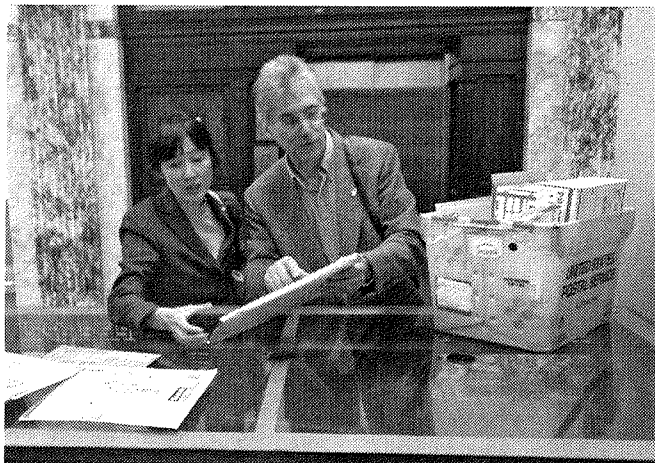
(原文のまま)
【令和元年六月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

十五万程度となる予定。
▼申込締切 十一月十五日(金)
▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

遺留品返還事業の推進

本会とOBONソサエティで

戦没者の遺留品返還活動を行っているオレゴン州アストリアのNPPO団体OBONソサエティが代表レックス&敬子。



米国内外から届く遺留品を郵便局で受け取るジーク夫妻 = オレゴン州アストリアで

ジーク夫妻は、平成二十一年にアメリカのオークションサイトで売買されていた寄せ書きの丸等の遺留品を集め、戦没者の遺族への返還活動を開始した。戦後七十の年には、米退役軍人とともに安倍晋三内閣総理大臣に直接面会し遺留品を返還しており、こうした取り組みに対し外務大臣から感謝状が授与されている。

OBONソサエティは返還を希望する退役軍人及びその家族から遺留品を引き取り、持ち主遺族等の捜索活動を続けており、本会は平成二十五年から同活動に協力し、既に本会を通じて二百件以上の遺留品が遺族へ返還されている。

本だな

【追悼 ブーゲンビル島戦七十五年記念 桐木

長浜市 雨森 貴子

父征きて風吹く夜も母と二人靖国の父徳び耐えきぬ

戦時下のひもじき日々をおもいつつりんの皮をうすくむきををり

遺族会の存続うはごに言ひをりしと部長の訃報を嫁御伝へ来

上田市 滝澤まさ子

千葉市 石橋 嘉子

六月二十三日は沖縄慰霊の日。一昨年の産経新聞が学徒隊の遺書を戦争遺産として後世に伝える取り組みを報道していました。沖縄第一中学校の生徒は二七三人が戦地に赴き、二三人が戦死したとの事。「決死敢闘悔いなし/最後まで頑張ります/自分の事は心配なく/又、家中元気でやって下さい/では父母よ去らば 祖国よ いざ去らば/最後に父母の健康を祈る」以上は修復した十五点の遺書の一つ。国を護る大義と父母への愛に、読んで胸が痛みます。平成に続き令和の御代も戦争がないように祈りつつ。(選考者)

九段短歌

作品を
お寄せ
ください。

選考者 安元 百合子

父の無き運の悪さを撥ね返し昭和・平成ひたすらに生き抜く

新元号発表さるる今日父は明治に生まれて今まさは何歳

両陛下ご訪問供花なされし日をペリリユーは休日と定め湧きたつ

英霊と呼ばれし父の沈む海 貨物船ゆく水脈を曳きつ

マキンタラワ人間魚雷で無念の死兄の御霊よとわに安かれ

頂きし甲斐金仏にお供えし亡夫のおかけと遺影に礼申

南相馬市 原 芳広

大阪市 高岡 千鶴

青森県 田中 恭子

富士吉田市 菅沼 勝由

名古屋市 林 美代子

名古屋市 林 美代子

名古屋市 林 美代子

名古屋市 林 美代子

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。
年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)
お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

この画集の購入を希望される方は左記まで。一部千七百五十円(送料込)【全国ソロモン会事務局】担当者 崎津寛光
住所 〒111-0003 五 東京都台東区西浅草三二二八 一 寿仙院内事務局電話
〇三三三八四一五〇一(九時~十六時)
担当者携帯電話
〇九〇一四〇六一三七八八(二十四時間受付)

地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

徳島県 5月11日

第56回語り部事業(60人)

東京都 5月21日

創立70周年記念式典(230人)

新潟県 5月23日

市町村地区遺族会長会議(56人)

埼玉県 5月29日

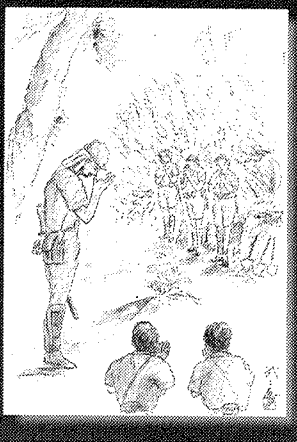
支部及び町村事務担当者会議(28人)

長野県 5月30日

役員研修会(51人)

追悼

平武二氏スケッチ画集



桐木平武二氏スケッチ画集

本書は、ブーゲンビル島における本格的な戦闘となった昭和十九年三月の第二次タロキナ作戦から本年が七十五年にあた